

旧山繁商店保存活用コンセプトプラン策定支援業務委託仕様書

1 趣旨と経過

旧山繁商店は、瀬戸の歴史と文化を体現できる市民の交流拠点としての機能を担うことができる施設として平成26年度に建造物とその用地の公有化し、翌年度には離れはじめ9件の建造物が国登録文化財となり、平成29年度に保存活用計画を策定した。

9棟の国登録文化財建造物からなる旧山繁商店は、保存活用計画においてその保存・保全すべき価値を有する部分が明示され、公開活用に関する基本方針が示された。これに基づき、保存活用の具体的なプランを、工事実施から完成公開までの概要スケジュールも含め作成し、今後継続的に当該文化財を管理運営する方針を決定する必要がある。

今回策定するコンセプトプランは、令和5年度より実施する公開活用を目指した旧山繁商店保存修理等工事の基本設計・実施設計が実現可能なものでなければならない。

2 委託業務名

旧山繁商店保存活用コンセプトプラン策定支援業務

3 業務委託期間

契約締結日から令和5年3月17日まで

4 業務項目

(1) 旧山繁商店活用案の検討支援

基本方針策定

ア 事務局を補佐し、基本方針の検討を行い、めざすべき施設整備の方向性を設定する。

イ 基本方針を踏まえ、敷地全体および各種棟の活用方針プランの設定を補佐する。

(2) 管理運営方針の検討および整理

官民連携手法も見据え整備後の望ましい施設管理や運用の考え方について、基本方針や施設内容に沿った事務局による検討、整理を補助する。

(3) 建築費(概算)の算定

復元の程度に係る建築費のコストを最小限の復元から望ましい復元までを3段階程度に分けて建築費の算定を行う。

(4) 法的条件の整理

改修整備に係る法的条件の整理と具体的な対応策の提案。

(5) 概略事業スケジュールの提案

工事実施から完成公開までの概要スケジュールを作成し提案する。

(6) その他

旧山繁商店保存活用コンセプトプランは、平成28年度に策定された瀬戸市歴史文化基本構想、平成29年度に策定された旧山繁商店保存活用計画と整合性をもつものでなければならない。

5 納品する成果物

- ・ 4で示した業務項目の成果を示した「旧山繁商店保存活用コンセプトプラン」(A4・A3サイズ紙原稿を各ページ1枚)(簡易製本) 10部
- ・ 電子データ一式 word, excel, indesign, PDF等 (DVDにて納品) 3組

・その他事務局が必要と認めるもの

1式

6 予算

2,000,000円(消費税込)